

ぎふ地域の絆づくり 支援センターだより

—— 地域で活発な活動団体を紹介します! ——



清流の国ぎふ

岐阜県環境生活部県民生活課
ぎふ地域の絆づくり支援センター
〒500-8570
岐阜市数田南2-1-1(県庁6階)
電話 058-272-8199

第28号

令和3年6月発行

35

特定非営利活動法人

まち・ひと・ことづくり工房 ひなぞら(池田町)

活動地域:池田町 活動拠点:遊伸館 代表:小川 康伸

池田町の概要

池田町は、濃尾平野の北西部に位置し、西に標高約924mの池田山、平野部には揖斐川が流れる自然豊かな町である。

町の中央には国道417号が南北に横断しており、公共交通機関としては、養老鉄道があり、大垣・岐阜・名古屋方面への通勤、通学の足として利用されている。

池田山の斜面に広がる茶畑から作られるお茶は、特産品となっている。また、その地形を活かして、パラグライダーやハンググライダーなどが行われている。

【地区のデータ】(令和3年4月1日現在)

世帯数:8,537世帯 人口:23,506人

まち・ひと・ことづくり工房ひなぞらの経緯

平成27年4月……………朝カフェ会の活動開始

平成28年11月……………寺子屋ひろばの活動開始

平成29年4月……………池野駅駅舎まちづくり工房
～平成31年3月 「霞溪舎」を運営(指定管理)

平成29年7月……………わかも会の活動開始

平成30年12月……………特定非営利活動法人設立に
向けて準備委員会を発足

令和元年8月……………設立総会の開催と同時に
NPOを設立

NPO設立のきっかけ

まち・ひと・ことづくり工房ひなぞらは、池田町の地方創生の取組の中で行われた、「住民参加によるまちづくり会議」に参加していたメンバーが中心となり設立された。町のプロジェクトのひとつ、養老鉄道の無人駅である池野駅の駅舎を、まちづくりの拠点とする「まちづくり工房『霞溪舎(かけいしゃ)』」の運営に参加したことが基になり、2年間の運営管理の後、これからも活動を続けていきたいというメンバーの思いがNPO設立のきっかけとなった。

「ひなぞら」の名前の由来

「ひなぞら」には、わかもの(ひな)が、太陽の光あふれる明るい陽(ひ)の中で、大空(そら)を自由に飛び回るイメージを込めている。

主な活動

●朝カフェinかさじゅう

NPO設立以前から、地域社会の課題解決に向けたアイデアをまとめる場として、ワールドカフェ方式で、地域に関することを気軽に話し合える場所を提供している。

- 毎月第4水曜日の朝6:30～8:15に土川商店2階において参加費300円で開催。(かさじゅうとは、土川商店1階のギャラリーの名称)
- 出勤前に参加する人もあり、池田町に限らず30代から70代の幅広い年代が参加している。
- 古民家を活用して人が集まれる場所を提供している人、養老鉄道を盛り上げようと活動する人、岐阜のマチュピチュ「天空の茶畑」の整備を始めた人など、様々な人が地域の話を持ち寄り、情報交換をしている。



●寺子屋ひろば

『勉強をがんばる子どもを応援したい!』を理念に ボランティア先生(元教師、塾講師、学生など)が、どこでつまづいたのかを一緒に探しながら、保護者との対話も大切にする学習支援をしている。

- 小中学生を対象に、毎月第2・4土曜日の9:30~13:00の間、ひなぞら活動拠点1階にある「自学スペース遊仲館」において参加費200円で行っている。コロナ禍以前は、龍徳寺のスペースを借りて行い、学習後にカレーライスを提供していただいていた。
- 宿題や教科の勉強のほか、iPadを使ったデジタル教材での学習やプログラミングの学習などを取り入れ、平日の17:00~21:00の間なら何日通っても定額料金の学習塾も行っている。



●わかも会の活動支援

若い人が自分達でやりたいことを見つけられるように、地域で活動する大人と話せる場を設けるなど「わかも会」の活動を支援している。

【わかも会】

『若い力で池田町を盛り上げていこう!』を理念に、池田町のことが大好きな学生から大人までの個性的なメンバーが集まり、町の魅力を発信するイベントの企画や商品の開発などを行っている

- 第2・3金曜日の19:00~20:00に自学スペース遊仲館において、参加費無料で行われている。
- 池田町地方創生プロジェクト推進助成金により、特産品のお茶に関連するものとして、羊羹「ときめぐり」を町内の和菓子処「伊吹堂」と協同開発。



課題と今後の展望

- 最初は収益のことなど考えない熱い思いの仲間が集まるが、NPOを続けていくためには、活動を維持できる収益は必要である。活動を維持するためにも、ある程度採算を取ることが課題である。
- 本来、学ぶことは楽しいはずだが、強制されると苦痛になる。子どもたちの興味がある事を取り入れ、学習に繋げる取り組みをさらに進めたい。
- 自分の意見をまとめ、伝えられる子どもを育てたい。
- 池田町は他の地域からも羨ましがられるほど子どもたちが活動的なので、このままNPOとしても支援を続けたい。
- 「まちづくりの中心はひとづくり」の考えを大切に活動していきたい。

取材を終えて

池田町生まれ、池田町育ちのひなぞら代表は、池田町は山や川の自然を日常生活の中で感じられ、店舗もあり交通の便もよく、生活をするのには困らない所だと話されます。池田町の活動的な子どもや大人を支援したいと話される代表の周りには、自然とまちづくりに取り組む人達が集まってくるようです。お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございました。

ぎふ地域の絆づくり支援センターからのお知らせ

○地域の課題解決応援事業

自治会・まちづくり協議会など地域住民主体の団体を対象に、地域が抱える課題(防災、子育て支援、防犯、認知症など)の解決につながるヒントを提供する専門家をアドバイザーとして派遣したり、地域住民の間で課題を洗い出し共有するワークショップを行う場合のファシリテーターを派遣するなど、ご要望に応じて課題解決の応援をします。

○高齢者の安全・安心のための出前講座

皆さんの地域へ担当職員等がお伺いし、交通安全・防犯・消費者被害の防止といった身近な問題をテーマに、講話・寸劇などで、わかりやすくお伝えします。

オンライン対応も
ご相談ください

詳しくは、ホームページ検索サイトで
地域の課題解決応援事業 [検索](#)

詳しくは、ホームページ検索サイトで
高齢者向け出前講座 [検索](#)